

第9回倉吉市立小学校適正配置協議会 概要

倉吉市教育委員会

◇日 時 令和3年3月26日(金)午後7時～午後8時30分

◇場 所 上灘公民館

◇参加者 委員38名、事務局6名

1 開 会

○教育長あいさつ

本日、4月1日から公民館がコミュニティセンターに変わることの締結式が行われ、無事に締結したことをまず、報告させていただく。また、生涯学習課の名称が4月1日から社会教育課に変わることもお知らせする。そして、今日のグループ協議について、成徳・明倫・灘手地区のグループには、委員の方からの要望もあり、後半に市長部局が入って倉吉市として地域にどのような支援が出来るかなど、一緒に話し合いしていただく予定にしている。

2 各グループ協議の意見抜粋

成徳地区・明倫地区・灘手地区

【肯定】

- ◇灘手小の保護者会としては、要望書のとおり成徳小学校との統合で、校舎は成徳小でお願いしたい。明倫小も一緒に統合ということであれば、大歓迎で3小学校統合が望ましいと思う。人数的にも可能だということと、保護者アンケートからの意見でも成徳小の校舎でお願いしたい。(灘手)
- ◇2年後を目途にするなら、もう検討会ではなく成徳と灘手との準備委員会に入らないといけないのではないかと思う。準備委員会に向けてどうするかという話をするのがいいと思う。(成徳)
- ◇明倫小学校も、令和5年度から東中学校区へ行くということは、はっきり明倫地区でも決まり、それを保護者に落とし込みもした。(明倫)

【中立】

- ◇現実的にはみんなが一緒になった方がいいと思っているが、どちらの校舎を活用するかで揉めている。そのわだかまりが消えるのが何年後かという話だ。東中への進学については、成徳校区の保護者と話をする中でどちらに行こうかと話がまとまるという思いからである。逆に校舎にこだわりを持たれることが不思議に思う。(明倫)
- ◇子どもたちの教育環境を考えた時に、別に成徳とか明倫とかいう場所でなく、いかに子どもの教育が出来るかを考えた時に、成徳小だと打吹公園があり、競技場があり周囲に施設が整っていて、広いとか狭いとかいう問題ではない。校舎の建て替えの際には校庭がなかったので競技場や公園を使い、言ってみれば校舎のようなものだ。横断歩道を使わなくても行けるし、そのようなことを考えると子どもたちが余裕を持って教育出来る場が実際にある。(成徳)
- ◇空き家などは小さなことで、もっと大きな戦略として旧山守小やグリーンスコーレなどは市への信頼度だと思う。大きなスパンで10年、20年先に市が向かっていく方向を示していただければ我々も頼りにしたいと思っている。我々も提案するが、行政が持っている知識でもっと大きな提案がほしいと思っている。(灘手)

高城地区・北谷地区・社地区

【肯定】

- ◇単独存続は3票だったということなので、現状はよろしくないという認識は保護者も持っている。だから教育委員会として、若しくはこの地区の方向性として、3校が一緒になるのか、小中一貫校がいいのかというような方向性を示し、スケジュールを組んだ上で、こと細かく説明していけばいいと思う。小中一貫校のメリット・デメリットを、今までよりも細かくスケジュールを組んで説明していただくと、不安が取り除けてより良い形になるのではないかと思う。(高城)

◇まだ一致しているわけではないが、単独か小中一貫校か。小中一貫校の範囲が問題になっているのが難しい。ただ、社地区がどのようになるかということが非常に関わってくるので、北谷と高城の小中一貫校だとやりやすいが、小さい学校が一緒になっても、何のスケールメリットもない。それだったらもう少し進めた方がいいというのが、おおよその意見だ。（北谷）

◇小中一貫校の良さを保護者に正しく伝えれば、多くの保護者は小中一貫校に、魅力を感じられると思う。出来れば単独がいいが、これ以上単独存続で頑張っても学級数、生徒数との関係で行き届いた教育が出来ない。小中一貫校を紹介すれば理解が得られやすい。そちらの方がむしろ説得はしやすいと思う。（社）

【中立】

◇①単独存続、②北谷・高城統合、③北谷・高城・社の統合、④北谷・高城を中心とした小中一貫校の4つの案でアンケートを取り、結果として67世帯の内、回収が52。内訳は単独存続3、北谷・高城合併30、北谷・高城・社3校の合併が9、小中一貫校が10という内訳だった。（高城）

◇北谷地区で多かった意見だが、北谷地区は高城小との合併を一番には考えていない。一緒になってもあまり規模が変わらないし、数年後にはまた合併問題が起きてしまうのではないかという理由で、もう少し思い切った方がよいのではないかということである。（北谷）

◇3つの小学校が一緒になると社小学校が無くなることになる。保護者、地域に切り込んでいかなければならない。単独でもいけるのに、なぜ一緒にならなければいけないのか、といった意見等が予想される。その難しさが社地区の課題としてあげられる。（社）

小鴨地区・上小鴨地区

【肯定】

◇市は推進する立場で説明をして、地区では反対している組織があるならその立場から説明するなど、両方の立場で保護者対象の説明会などを開催したらいいと思う。そうすることが第一歩ではないかと思う。（小鴨）

◇コロナ禍で一度に多くの住民が集まれないのなら、まずは保護者の方、次に住民対象、そして全体というような形式で、理解を広げていければと思う。（小鴨）

【中立】

◇上小鴨小と小鴨小が一緒になって、いい学校をつくろうとなった場合は、協力する。小鴨地区は小鴨小だけだと考えていない。ただ、上小鴨地区の方の気持ちが少人数でも学校を残し、子どもたちを育てたいという気持ちが強ければ、それを踏みにじてまで統合にしなくてはいけないとは考えていない。気になるのは児童数のことで、もし複式学級になるようなことがあれば、教員が大変な面があるので、その辺りが危惧される。（小鴨）

◇小学校の保護者へ教育委員会が説明すると、統合する方が子どもたちにとっていいという考えが保護者に増える。地域では小学校は残さないといけないという考えなので、保護者と地域が分断されるのが一番怖い。その部分を、教育委員会の方も考えてこの議論を進めてほしい。（上小鴨）

【否定】

◇保護者の方の考えは、スタートした時のアンケートと気持ちが変わってきている。最初の頃は絶対に学校は残してほしいと言っていたが、段々と風化して気持ちが変わってきている。他地区の様子を聞かれると、上小鴨小が取り残されてしまう気持ちになる。そのため、大勢のところに行くべきかという気持ちが伺われる。（上小鴨）

◇小鴨小と統合すると450人くらいになる。上小鴨小の小規模校とはいろいろな面で大きな違いがある。上小鴨小だと人数が少ない分、いろいろな経験が出来て、これが社会に出てから生きる力に繋がる。ところが大きな学校では、リーダーである一部の子どもが全部やってしまうので、あとの大多数がついて行くというような傾向がある。そのような面からも小規模校がいいと感じる。（上小鴨）

◇小鴨地区の方は上小鴨小学校の単独存続を反対されているわけでもない。なぜこのような話し合いをしないといけないのかと思う。（上小鴨）